



はるひ野小中学校 3階展望広場

北島恒例

アフターフォロー

談義

竣工後の「はるひ野小中学校 増築棟」を訪ねて ～小学部 校長先生に聞く～

SE構法の建物を観る！
麻生区 宮下伸邸新築工事

北島工務店にお任せください！
リフォーム事例集

ただいま施工中！
JAセレサ川崎 新生田支店新築工事

社員の趣味

日ごろ使われる建築用語
編集後記



春の香林寺

竣工後の「はるひ野小中学校 ～小学部 校長先生に聞く～

はるひ野駅が開業し、生活の場として住民が増えてきている「はるひ野」。はるひ野小中学校でも生徒数が増え校舎の増築工事を行い、この春から教室やオープンスペースが利用できるようになりました。増築された校舎はどのようになっているのか、はるひ野小中学校を訪ねてみました。



▲南側からはるひ野小中学校を望む

■はるひ野の街づくりと小中学校の建設

平成2年より川崎市の都市計画により、最北部の麻生区黒川地域に新しく「はるひ野」の街づくりが始まり、その文教施設の中心として「はるひ野小中学校」の開設が進められました。当初は小学校を新設する計画でしたが、地域の強い要望と当時の小中一貫・連携という教育思潮を受け、川崎市では初めての施設一体型の小中連携校として平成20年4月に開校しました。小学校、中学校9年間を通じて人間形成を行い、新たな学校文化を創出することを基本理念として教育活動を行っています。



▲3階のオープンスペース



▲1階女子トイレ



▲1階男子トイレ

■小中連携教育の取り組み

本校の特徴は、校舎が一体であるので学校生活の中で自然に小中学生がかかわりを持つことです。登下校時から同じ門を共有するなど、日常生活の様々な場面で小学生と中学生のふれあいが見られます。小学生にとっては、中学生の責任感ある行動や具体的な活動が、数年後の自分たちの理想の姿としてとらえることができる一方、中学生にとっては、小学生が身近にいて、自分たちの行動を律し、リーダーとしての自覚をもちながら、よりよい学校生活を送ろうとする意識へとつながっています。

また、本校では、様々な場面を通して小中の教職員が関わり合いを持っています。小学校教員には中学校の、中学校教員には小学校の兼務辞令が発せられ、児童生徒への指導を教職員全員で行っています。また、同じ校務センター（職員室）を利用していることで日常的に情報交換や教育活動への相談を行うことができます。その成果として、子どもの発達段階に応じた指導方法を小中の教職員がお互いに吸収しあい、9年間の成長過程に合わせた子どもたちへの関わりを行うことができます。

増築棟」を訪ねて

■街の開発と児童生徒数の急増

はるひ野は予想以上の住宅開発が進み、大きな街へと発展を続けています。それに伴って、児童生徒数も急増し、開校当初は小学生児童400人、中学生生徒100人の小規模校でしたが、現在では児童数約1000人（普通学級29学級）、生徒数約300人（普通学級9学級）の大規模な小中学校に成長しています。児童生徒数の急増により、教室不足が生じ、増築校舎の建設が進められることになりました。平成26年度からは20教室が増え、小学校の4学年が学校生活を送るようになります。新しい教室やクラスターで学習することをみんな楽しみにしています。また、中庭の緑の広場には遊具や砂場があり、低学年児童の人気の場所になっています。既存校舎の建築思想をしっかりと受け継ぎ、違和感の無いように仕上げられ、子ども達は伸び伸びと教育活動に取り組むことができるようになります。



▲オープンスペースとつながるクラスルーム



▲明るい光がクラスルームに注ぐ



▲2階渡り廊下



▲多目的に利用できる会議室▶

■これからはるひ野小中学校

児童生徒数は今後さらに増加し、児童生徒1500人以上の大きな学校に発展していきます。校舎増築が完成し、グラウンドを拡張整備、既存校舎の改築など大規模校としての教育環境が整えつつあります。開校から5年で作り上げてきた本校の良さを大切にしながら、これから先の5年でさらにステップアップし、環境面だけではなく教育内容面でも本校の特徴を生かした新しい学校文化を創出していくことを目標として取り組んでいきたいと思っています。

はるひ野小中学校増築棟 建物概要

所在地：川崎市麻生区はるひ野4丁目8番1号
構造：鉄筋コンクリート造（渡り廊下は鉄骨造）
階数：4階建て
建築面積：1,418.81㎡
延べ面積：4,022.54㎡
主要室：普通教室20室、各階オープンスペース



耐震構法 SE構法 の建物を観る！ ～麻生区 宮下伸邸～

キタジマが自信を持っておすすめする地震に強く、住宅ローン減税の優遇も受けられる長期優良住宅の対象にもなるSE構法の家。今回、SE構法で建てた宮下様にご感想を伺いました。



▲津久井道からの外観

●弊社にお声掛けを頂いてから、ご契約に至るまでのご感想をお聞かせ下さい。

初めから、北島工務店に決めていました。社員の方で、私の知人の親戚がいたこともあり。家づくりに関しては、不安なこともなく順調でしたが、道路幅で小さくなった敷地に、計画のような大きい建物が入るのかということでした(笑)。何度聞いても大丈夫、大丈夫と言っていましたね。その通り出来上がりました。(笑)



▲使いやすいオープンキッチン



▲宮下伸邸

●ご依頼時から工事完成まで、弊社の印象はいかがでしたか？

近所の建設会社なので、以前から大体様子は分かっていた。思っていた通り工事をして頂きました。



▲昭和の酒屋さんにタイムスリップ

●工事中、竣工後の弊社の対応はいかがでしたでしょうか？

杭工事、基礎工事そして本体の建て方を見て、素人ながら丈夫な建物だと実感しました。また、工事中の現場は何時行ってもとてもきれいでした。竣工後も会社が近いということもあると思いますが、何でもすぐに対応してもらっています。



▲本体と基礎を直接つなぐ柱脚金物



▲柱脚から軒桁まで林立する通し柱



▲柱、梁を強固なSE金物で接合



▲しっかりと組みあがった柱と梁



▲圧倒的な耐力を伺わせる小屋組



▲小屋梁を覆う厚さの断熱材

●最後にまとめの一言をお願いします。

皆さんに大変お世話になり、使い勝手の良い家と店が出来上がりました。特に台所はすごく使い易いですよ。これからもよろしくお願いします。こちらこそよろしく願い申し上げます。

北島工務店がおすすめする地震に強い家

耐震構法
SE構法

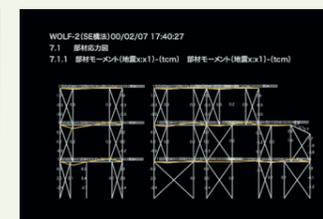
北島工務店では、東日本大震災で起こった津波にも耐えた実績のあるSE構法による家づくりをしています。いつまでも安心して住まい続ける家づくりをお約束いたします。



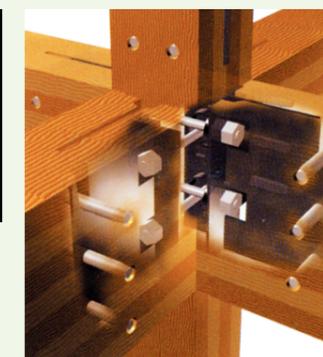
集成材



SE金物



構造計算



ハードジョイント

天然木材の長所をそのままに、反り、ねじれ、割裂などの欠点を克服し、飛躍的な強度を実現。これにより安定した品質を生みだし、構造計算を可能にし、大規模木造建築物をも可能にしました。

SE構法のすべての接合部は、独自開発によるSE金物によるハードジョイントにより構成しています。これにより自由な空間作りを実現する構造強度を確保しています。

SE構法は、木造住宅においても、大規模建築物と同様の応力解析による構造計算を実施。台風・地震などの自然災害もシミュレーションをし、その安全性を確認しています。



ただいま施工中!

JAセレサ川崎 新生田支店 新築工事



9月 地盤改良杭工事



10月 根切工事



11月 基礎躯体工事



12月 鉄骨建方工事



1月 サッシ取付工事



2月 外壁金属パネル工事

8月より既存建物の解体工事を着手し、地盤改良杭工事・基礎工事・鉄骨建方工事・外装工事を経て今日に至っております。これから本格的に内装工事をすすめていきます。26年6月初旬の完成を目指し、関係者の協力を得ながら工事を進めてまいります。

社員Yの趣味紹介 ~釣りを楽しむ~

子どもの頃から趣味の釣りを楽しんできました。川や海岸での手軽な物から、レンタルボート・遊漁船での釣りとはさまざまな獲物をねらっていますが思うような釣果はありません。それでも海の上で楽しい休日をごしています。

今回は、東京湾猿島ブランドの鱈を釣ろうと横須賀は新安浦港から出船。車・電車共にアクセスが良く駅までの送迎付、道具もオールレンタルで手ぶらで気軽に楽しめます。最近では牡蠣の養殖もやってるそうです。

今回も残念な釣果でしたが、船宿の女将さんおすすめのイシモチの干物で乾杯です。次回はさつま揚げに挑戦します。



▲東京湾でのボート釣り



▲ボートから観る猿島



▶チビキンメを食べてさらに酒を



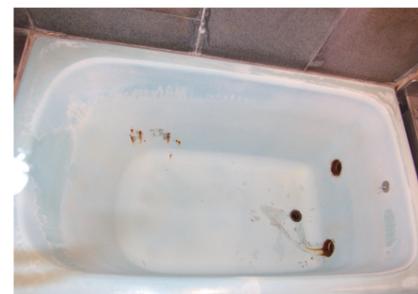
◀干物で乾杯



北島工務店にお任せください!

リフォーム 事例集

●40年使った浴槽のリフォーム



40年間使用したホーロー製の浴槽。



傷み箇所を補修し、下地を塗装中の状況。



上塗装終了です。40年前のようになりました。完成。

●キッチンのリフォーム



築30年経過したキッチン。きれいに使われてますが傷みも出ています。



既存のイメージが変わります。素敵なおキッチンに変更中。



色使いが素敵なおキッチンに。ご満足いただきました。

●ユニットバスが入らない公団の浴室リフォーム



写真のようにユニットバスが入らない浴室をリフォーム。



ちょっと高額ですが、タイル張りは掃除も楽で冷たさもなくなります。



快適に入浴していただけるようになりました。完成。

Kitajima のリフォーム

この安心感…なるほどこれがゼネコンの技術力!

一級建築士・一級施工管理技士が「住まいづくり」にきめ細やかな対応を致します。

リフォームスタッフ全員集合!



キッチン



バス



トイレ



屋根

お問い合わせは  株式会社 北島工務店 住宅&リフォームセンター TEL.044-952-1000

おまかせください。地元ゼネコンだから安心です!

お客様のライフスタイルに合わせた”住まい”を提案いたします!! 外壁・屋根の補修、塗装、葺き替えや耐震補強など建物のリニューアルや、生活スタイルの変化に応じた住空間のリニューアル。リフォームの内容はもとより、ご予算のこと、工事期間のことなど何でもご相談下さい。

リフォームを考えるなら…

「長期優良住宅化リフォーム推進事業」を活用してみませんか？

●長期優良住宅とは 長期にわたり住み続けられる住宅にすることで、住宅の解体などによる廃棄物を抑制し、環境への負荷を低減するとともに、建替えなど住宅に係る費用負担を軽減し、豊かな暮らしへの転換を図ることを目的としています。

今までは長期優良住宅の補助金は新築住宅のみが対象でしたが、この制度により中古住宅も対象となりました(14年度の具体的な条件はこれから発表)。「長期優良住宅化リフォーム推進事業」と言われ、耐震や断熱、省エネなど住宅性能を高めるリフォームや劣化対策など住宅の寿命を延ばす工事などが対象となります。※共同住宅ではバリアフリー工事も対象となります。

主な補助条件として

- 1) リフォーム工事前にインスペクション(住宅診断)を行い、工事後に維持保全計画を作成すること。
- 2) 住宅の性能向上のためのリフォーム工事を行うこと。
- 3) リフォーム工事後に少なくとも劣化対策と耐震性について一定の基準を満たすこと。

とあります。これら条件を満たした場合、工事費用の1/3、1戸当たり上限200万円の補助が受けられます。リフォームをお考えならば、この長期優良住宅化リフォーム推進事業をぜひ利用しましょう。

リフォームに関することも北島工務店へご相談ください。

日ごろ使われる建築用語

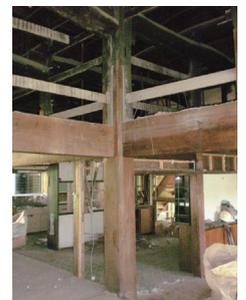
大黒柱

近頃では、滅多にお目にかかれぬものになりました。しかし、この言葉は今でも日常でよく使われています。若い人たちの間でも「彼はチームの大黒柱だ」という表現は、よく耳にすることでしょう。しかし、いざ由来を尋ねますと明快な答えは、なかなか返ってきません。建築に携わる人においてもしかりです。出典-大辞林によれば ①日本民家の中央部にあって、家を支えている柱。他の柱より太く、家格の象徴とされる。大極柱。②ある集団の中心となり、それを支える働きをしている人。「一家の―となって家族を養う」出典-世界大百科事典「日本の農家や町家の土間と居室部分の境目の中央にあって、他の柱より特に太い柱を指す。大極柱とも書き…(中略)家のなかで大黒柱1本だけを特に太くするのは江戸時代中期以降に多く見られた。…」

前述の出典が示しているように「大黒柱」は「大極柱」という表記もあります。その由来は飛鳥・平安時代の古代朝廷の正殿「大極殿」を支える柱に由来するという説があります。

出典-「寺社関連の豆知識」現在、私たちが一般的に使っている「大黒柱」は、そのルーツをインド ヒンドゥー教の神大黒天にあるといわれて

います。7世紀頃の唐の僧の見聞録には、インドの寺院の台所の柱には、金の袋を持った小柄な大黒天が祀られており、いつも油で拭かれ黒い身体であったとあるそうです。その後伝教大師最澄によって日本に伝えられ、寺院の台所の守護神として祀られるようになりました。大黒天信仰が一般に広まるようになったきっかけは、大黒天と大国主命との音が通じ合うことから、同一視され信仰が広まったと言われています。江戸時代中期以降、民家建築の柱の中で中央付近に配され、構造上も重要な太い柱には七福神の大神である「大黒様」が祀られるようになり、その柱は「大黒柱」と呼ばれるようになったといわれています。元々台所の神様であった大黒天は、他の七福神がそうであるように、福をもたらす神としても信仰されてきました。「大黒柱」という言葉は建築用語から転じて、社会や組織あるいは家庭の中心的人物をイメージさせる言葉として使われ続けることでしょう。弊社も地域社会の「大黒柱」に少しでも近づけるよう精進して参りたいと思います。



！邸解体中の大黒柱

【編集後記】例年以上に今冬は厳しく、北翔11を作成中に記録的な大雪もありました。また、東日本大震災から3年経ち、改めて住まいの安全性が注目されてきています。消費税率の改定など、私たちの生活を取り巻く環境は年々スピードを上げて変わっていくような気がします。その中でも北翔を通じて皆様の心に安らぎや暮らしの情報をお届けできることを嬉しく思います。

 株式会社 **北島工務店**
本社 〒215-0021 TEL.044-954-1111(代)
川崎市麻生区上麻生3丁目20番6号
www.kita-jima.co.jp



KAWASAKI Frontale
私たちは Kawasaki Frontale を応援しています。